

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習7

※この講習を受講する方はハ-108、ハ-207、ハ-222を受講することができません。

クラスCD	ハ-302	開講日	12月25日(火)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	現代子ども論	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>『現代子ども論Ⅰ～現代社会と心の育ち』では、なぜ現代の子どもたちが変わったように見えるのか、社会の変化を理解することを通して、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を考えていきたい。『現代子ども論Ⅱ～子どもたちをどう理解するか』では、子どもたちをどのように理解したらよいのか、具体的な事例を取り上げながら考える。子どもや保護者と向き合う際の態度やスタイルを形成することを目指す。</p> <p>(1)教師にとっての共感性とは何か：社会化と共感の狭間を生きる教師  (2)近代社会を支えてきた教師から自由になれるか  (3)存在の不安を抱える子どもたち：教師批判やリストカットから見える子どもの自己  (4)子ども理解のスタイルを学ぶ：子どもを理解する際の盲点について知る  (5)他者とかかわることが不安な子どもたち：傷つきやすい子どもたち  (6)現代のいじめの特徴：いじめの背後にある同調性  (7)自己形成の困難な子どもたち：子どもたちの関係確認と多元的自己  (8)保護者理解の難しさ  (9)認定試験：講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1)近代社会を支えてきた教師の役割を知ると同時に、その役割を相対化する眼差しを身につける。  (2)子どもたちの問題行動の裏側に隠された意味を知り、またその意味を捉える子ども理解のスタイルを身につける。  (3)子どもたちの具体的な行動を理解できるようになる。  (4)事例を理解することにより、子どもたちや保護者と向き合う態度やスタイルを形成する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

**【選択】新課題講習8**

※この講習を受講する方はハ-111、ハ-213、ハ-228を受講することができません。

クラスCD	ハ-303	開講日	12月25日(火)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	身体コミュニケーション&コーチング	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	加藤 敏弘 (かとう としひろ)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえた上で、次の2点を行う。 ・コミュニケーションの媒体として身体を持つ意味を非言語コミュニケーションを理解することから考え、子どもたちとのふれあいをさまざまなワークを通して見つめ直す。 ・企業や教育現場などさまざまな場面で活用されているコーチングの基本を学び、各種ワークシートを用いて学校現場でのコーチングを考える。		
到達目標	・コミュニケーションの媒体としての身体についての理解を深め、自己の身体を内観し、他者との向き合い方を理解し、子どもたちとのふれあいを見つめ直すことができる。 ・コーチングの歴史と基本的な考え方を理解し、学校現場でのコーチングについて具体的な方策を考案することができる。		
受講者への事前連絡事項	子どもたちとの関係性を身体的な側面から観察しておいて下さい。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。